

決算特別委員会産業建設分科会

H 2 9 . 7 . 2 7 (木)

午前 1 1 時～

場所：第 3 委員会室

1 開 会

2 事務事業評価対象事業の選定

3 その他

決算事務事業評価に向けて

目的

事業の問題点を明らかにし、行政側に次年度予算において反映させること。

☆事業選定について

(留意点)

抽象的な議論、結論で終わらないよう、具体的な事務事業レベルで選定する。

対象とすべき事業

- ・ 市民の関心が高い、市民生活と密接した事業。
- ・ 今後も継続予定の事業で、目的に対する成果が見えにくいもの。
- ・ 市民ニーズの変化等に対応して、新たな視点を導入して改善すべき事業。
- ・ 民間、国、府が行う他の事務事業と事業目的や成果が重複しているもの。

明確な理由がない限り対象外とすべき事業

- ・ 小規模な事業
- ・ 一般財源の割合が少ない事業（国・府補助事業など）
- ・ 今後終了を予定している事業
- ・ 新規事業で成果がまだ表れていないと判断し得る事業
- ・ 法定受託事業や一般管理経費など

具体的な問題点を提示して、事業選定を行うこと。

過去３年間にける評価結果（選定事業／評価結果／付帯意見）

【平成２８年度審査】

商店街等活性化推進事業	見直しの上継続
○地方創生交付金等を活用した補助事業（プレミアム付商品券や「街バル」「１００円商店街」等）は一過的な事業効果とならないよう、その効果を分析して、次の施策への工夫・展開が求められる。商店街・個店の意欲を喚起し、その魅力をさらに引き出せるような支援に向けて取り組まれない。	
公園緑地管理経費	見直しの上継続
○亀岡運動公園については、利用者のニーズにより的確かつ速やかに応えられるよう、指定管理者制度を十分活用する中で業務内容を見直し、一層のサービス向上に努められたい。	

【平成２７年度審査】

安全・安心の農産物栽培支援事業経費	継続（改革改善）
○農業振興につながることを施策の基本として、事業目的に沿った成果が表れるよう改善を図り、耕畜連携による循環型農業の推進に一層努められたい。 ○土づくりセンターにおける堆肥支援は、安価で良質な堆肥の安定供給・普及をめざすものとして、農・畜産業の経営安定に資する支援となるよう望む。	
観光ＰＲ推進事業経費	継続（改革改善）
○るるぶスマートフォンアプリについてはその有効性を十分検討し、ＳＮＳの特性を生かした効果的な手法となるよう改善を図り、観光協会と連携して取り組まれない。	
安全なわが家の耐震化促進事業経費	継続（拡充）
○効果的な普及啓発について検討し、耐震化率向上に向けて継続して取り組まれない。 ○耐震改修助成制度の拡充に向け、新たな補助施策についても検討を深め、補助金確保に鋭意努められたい。	

【平成２６年度審査】

鳥獣対策事業	継続（拡充）
○防除柵とわなの併設等、有効な対策について、地元や猟友会等と十分検討し、実施主体である猟友会等に必要な支援を行うこと。 ○里山の改善等、他の事業を組み合わせることで総合的な対策を講じることにより、農林作物被害の防止、軽減に一層努められたい。	
観光推進事業（城下町観光）	継続（拡充）
○城下町のにぎわい創出に向けたビジョンを明確にし、町家・景観に対する地元住民への啓発や城下町の情報発信に努めることにより、地元・民間活力の参画を得て、効果的な事業展開が図られることを望む。	
排水路新設改良事業	継続（拡充）
○浸水被害地における早期着工を高く評価する。今後、雨水排水事業の全体計画を推進する中で、よりきめ細かな対策に継続して取り組まれない。	